

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 3月 7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271402010		
法人名	有限会社セルフサポート有明		
事業所名	グループホーム暖		
所在地	雲仙市瑞穂町古部乙771-8		
自己評価作成日	平成24年2月10日	評価結果市町受理日	平成24年3月30日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所 1階		
訪問調査日	平成24年 2月 28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広がる海と山の季節の移ろいが自然とリビングや居室から望める、明るく気持ちのいいホームです。前庭は芝生を張っており、庭やリビング前のウッドデッキでお茶や食事を楽しんでいます。毎日リハビリ体操を行い身体全身を動かすように支援しています。メドマーや足浴等その方にあたりリハビリ器具も使用して健康維持に努め、協力医(内科・皮膚科)の往診も定期的に来ていただいております。看護師の下職員一丸となって健康管理にも留意しています。気持ちのいい環境の下皆様落ち着いた生活を送られています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当ホームは「暖かい手で心の通い合う介護」をモットーに運営している。リビングは太陽光をふんだんに取り入れられており、明るく暖かい雰囲気を醸し出しており、利用者も穏和で表情豊かに思い思いの生活を送っている。開設から8年が経過し、地域から、認知症への理解やグループホームの必要性についての理解も深まり、自治会行事等への参加により相互の信頼関係を築いている。また、管理者は職員の働きやすい環境作りに力を入れているほか、地域及び利用者のニーズに応えられるよう全体のスキルアップを図るため、倫理研修等を行っており、今後一層期待できるホームである。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>施設長管理者と職員と作り上げ、朝礼時に皆で唱和している。</p>	<p>毎朝のミーティングで人間の尊厳等に関する倫理の研修を併せて行い、理念の一つである「利用者の気持ちを大切にして望まれるケアを提供する」ことを職員に浸透させ実践している。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>毎日のように、近くのスーパーへの買い物を通し交流を図っている。自治会に入り行事に参加している。</p>	<p>地元中学生の福祉体験やボランティアの受け入れを積極的に行い、自治会行事への参加で地域交流も深めている。また、利用者はスーパーでの買い物や近隣への散歩で、地域の一員としての交流が行われている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>自治会公民館において、介護教室を開催した。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月毎に開催しており、意見を頂戴し、実践につなげる努力をしている。</p>	<p>家族会、自治会、老人会、地域住民、地域包括支援センター・消防署職員等の参加で実施している。会議ではホームからの報告が議題の中心になっている。</p>	<p>会議を有意義なものにするため、議題の検討を期待したい。また、会議の欠席者にも、ホームへの理解を深めてもらうため、議事録を届け報告されることを期待したい。</p>
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>解らないことは連絡したり、広域圏組合主催の介護教室の開催協力等取組みについても報告している。</p>	<p>市担当者との連絡等は密であるが、運営推進会議で地域包括支援センターが把握した情報が、同センター内に於いて、また市側と共有されているとは言い難い。</p>	<p>グループホームの指定及び監督を行っている市や地域包括支援センターには、真剣な受け止めをお願いし、より積極的な関与を促されることを期待したい。</p>

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>言葉がけにも注意をさせている。日常のミーティング時にも拘束についても話している。</p>	<p>全職員が、何が身体拘束にあたるのかを十分理解している。言葉かけが命令口調にならないように注意しているほか、外部研修の参加や職場内研修も積極的に行われている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>厚労省ホームページ身体拘束についてのマニュアルに沿い施設内研修を行っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護利用者がいる。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な時間を持ち解約を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議等利用している。</p>	<p>家族には面会や訪問時等を利用して問いかけ、話しやすい雰囲気作りをして意見を聴き運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的ミーティングを行っている。</p>	<p>毎朝のミーティングでは、「他の職員のいいところの気づき」発表もあり、職員のやる気の醸成に繋がっている。また、定期的なミーティングや個別面談で意見を聴く機会を設けている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>有給が取りやすい人員の配置・産休の職員の復帰時のシフト・勤務時間数等</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修実務者研修等祖の職員に合った研修の機会を与えている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>雲仙市・島原半島・長崎県の各GH連絡協議会に所属し、研修会や相互訪問等活動を行い、サービスの質の向上につなげている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ゆっくり話す時間を持ち、また様子を観察し関係づくり、ケアにつなげている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ケアプランに反映させている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用希望で見学にいらっしゃった方を高専賃や専門病院入院等へ紹介行った。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に料理の下ごしらえをしたり、洗濯物干し・たたみを行い、また梅干作りなどを教えてもらいながら行った。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>病院受診に付き添っていただいたり、行事に参加していただいたり、定期的な外泊・外出等の支援をしていたりしている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>床屋や・美容室・法事への参加等支援している。</p>	<p>外の景色が良く明るいリビングに、訪問者や利用者が集うことで、各々馴染みの関係ができています。また、職員は利用者の生活歴や人間関係を把握し、関係が継続する支援を行っている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>テーブルの席や夫婦や兄弟での入居者様の関係など安心して過ごせるよう支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院先へのお見舞いや、必要あるときは情報提供を行っている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>Cシートを利用し把握に努めている。</p>	<p>どのような生活をしたいのか、利用者や接する中で、しぐさや雰囲気から察知するようにしている。また夜の就寝時は比較的ゆっくりと話が聴けるので、その機会等を捉えて思いの把握に努めている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>アセスメント表に記入。本人及び家族に聞き把握に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>カンファレンスや毎日のミーティング時気付きを報告し、シートを利用し記録している。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>定期的にプランを見直し、また状態に変化あるときはそれに依りてプラン見直しを行っている。モニタリングは、月一度行い記録している。</p>	<p>利用者の意見や家族の要望を組み入れて作成したプランは、全職員でのケア会議やモニタリングで見直しを行っている。また、ケア記録も実態の把握がしやすい様式であり、目標設定については、家族にも随時説明して理解していただいている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>プラン実践記録とした、様式をつくり記録している。申し送りを朝・夕行っている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>買い物や病院受診・諸手続き等家族に代わって支援している。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>スーパーや床屋さんなど近くにあるので、暖のことも理解していただいており、スムーズな利用ができています。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>往診に来ていただいている。皮膚科・内科</p>	<p>ホームの協力医療機関が毎週往診に来ている。また、入居前のかかりつけ医での受診について、家族からの支援がある。24時間医療を受けられる体制が整っている。</p>	

31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員が休みの日、異常ある時は、オンコールで対応している。常時連絡報告しあっている。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、付き添い情報を提供している。 (アセスメント表含む)病院と連絡を取り合い早期の退院へ繋げている。</p>		
33	12 <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>見とりケアに関する書面あり。話し合いを行い、終末期には主治医も交え話し合いを行っている。</p>	<p>終末期の利用者には、本人、家族の意向を確認し、主治医も入って話し合いをしている。看取り時は、職員の配置を多くするとともに、家族も付き添い、医療機関とも連絡を密に取りながら支援を行っている。</p>	
34	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署主催の研修会に新人を行かせている。マニュアルがある。</p>		
35	13 <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に訓練を行っている。運営会議時に避難訓練を行った。</p>	<p>オール電化やセンサー設置で火災予防の対策を行っている。昼夜の避難訓練を実施し、消防署員から災害の際の注意点等指導を受けているが、近隣の参加者が少ないため今後運営推進会議等で参加を呼び掛けたいとしている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>言葉遣いによっては、拘束になるんだと常日頃から伝えている。年配者と尊敬しての対応に心がけている。</p> <p>職員は、プライバシーの保護について、DVDを利用しての研修等で、利用者の誇りやプライバシーを損ねないケアのあり方を再確認している。また、日頃から方言でもよいが利用者を敬った話し方をするように注意を喚起している。</p>
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<p>話しかけやすい職員の雰囲気をかもし出すよう心がけている。利用者様との関係作りを大切にしている。職員が答えを出さないように注意している。</p>
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<p>一応時間は決まっているが、その時によって時間を決めずに食べていただいている。メリハリの付いた生活支援のため決めてしまっていることもある。</p>
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<p>コーディネートのお手伝いをしたり、誕生日に服のプレゼントしたり、一緒に買い物に行ったり家族に頼んで新しいものを購入してきておらったりしている。</p>
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<p>食べやすい形態にしたたり、食事の下ごしらえ（ごぼう削ぎ・もやしの根取り・コロッケの衣付け等）皿拭き</p> <p>献立は嗜好調査も行き、利用者とともに決め、野菜中心となっている。利用者には野菜の下準備や茶碗拭きなど、できることをお願いし、食前に嚥下のトレーニングをして、職員と一緒にゆっくりと食事を楽しんでいる。</p>
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<p>AM/PMとお茶の時間あり。摂取量記録している。状態により量・形態を代え提供している。</p>

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床時・毎食後歯磨きしていただいている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表に記録し、失禁ないように各自に合わせた時間で誘導を行っている。</p>	<p>夜はおむつやポータブルを利用する利用者もあるが、トイレで排泄することを第一として支援を行っている。一人ひとりのパターンに合わせて支援を行い、失敗された方にも尊厳ある対応を心がけている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>繊維野菜摂取・毎日のリハビリ体操等自然な排泄に向けて支援している。下剤もその方のパターンに合わせて服薬してもらっている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>各自2日に一度の入浴になってしまっているが、毎日入りたい方は、そのようにしている。</p>	<p>利用者それぞれの状態に沿った介助を心がけており、丁寧な支援を行っている。入浴を楽しみにされ、入浴中の会話が弾む利用者もいる。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>眠れない方には、ゆっくり話し相手になり、ホットミルクを飲んでいただいて安心して入眠できるよう支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の説明書で確認したり、医師・薬剤師に解らないことは尋ねている。薬で状態変わった時は看護師・医師に伝え中止・替えていただいている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>家事の手伝いや花壇の手入れ・買い物・ドライブ等個々の希望により行っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近くの弘法様に毎日お参りに行かれている方もいる。行きつけのお饅頭屋への買い物等。</p>	<p>近所のスーパーに食材の買い出し行ったり、理美容室に出かけている。また花見やレストランでの食事など外出支援を行うほか、利用者は家族との外食にも出かけている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>2名持たれ、買い物時に使用していただいている。他の方は個人財布をホームで管理して使用していただいている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入所中の息子さんのところに電話したり、家族に電話していただいたりしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には季節の花を飾っている。居室前・トイレ・お風呂に表札をかけている。リビングから見える風景。</p>	<p>共用空間には絵画やアンティーク家具を随所に配置し、また大型の空気清浄機が設置され、衛生的で快適な生活が送れるよう工夫されている。皆が集うリビング脇の畳の部屋で、利用者はリラックスされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室・ソファなどゆっくりできる空間を提供している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇を持ってきている方・奥さんの写真を飾っている方もいるが、持込が少ない。皆で過ごせるリビングにいらっしゃる方が大半である	広めの部屋は整理整頓が行き届いている。利用者は、それぞれが写真や家具など、思い思いの品を持ち込み自分らしい生活を送られている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	頭を打たれないよう手摺にタオルを巻いたりクッションを置いたりしている。表札等。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>毎朝、理念の唱和を行い意識して、業務に取り掛かっている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会の行事にできるだけ参加している。近隣のスーパーへの買い物。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>11月に自治会の協力の下、勉強会を行った。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回実施。地域の方の協力もあり、有意義なものとなっている。</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>包括ケアマネとの情報の交換。空き情報のホームページの活用。</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>施錠は、夜間のみ。ベッド柵も、2本以上は、使用していない。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ちょっとした、傷や腫れなどは、し職員同士で報告しあい、原因を話し合っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護を利用している方がおり、毎月社協の方と、情報交換をしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>読み合わせを行い、後日でも質問あれば受け付けている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時のケアプラン説明の際や、状態報告の際に聞いている。運営会議にも家族の方の出席をお願いしている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回のカンファレンスの際や、1対1で時間が作れる時に機会を設けている。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>できて欲しいこととできたこと、個人にあった指導を心がけている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>自分で考えて、行動できるよう、なんでも先に正解を言わないよう心がけている。研修の実施。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他施設スタッフと勉強会や研修会等で交流し、情報交換をしている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人の話をよく聞き、まずは慣れてもらうことを前提に置き、積極的に話をするようにしている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>きちんとルールほーむを理解して貰い、その時々に応じて、蜜に連絡を取ったり、きちんと話を聞くようにしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要あれば他のサービス提案を行う。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>教えてもらったり、ご本人の得意な事を見つけ、活躍できる場を作っている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時、状況をほうこくし、ご本人の希望を話して、一緒に外出してもらったこともあった。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの物を持参してもらったり、電話や手紙の交流。古い友人の方が面会にこられる方もいる。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ゲームやお手伝いの時に、教えたり教えられたりの関係作りをしている。食卓の席を、配慮し、決めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院したり、他施設への転居しても、面会に行ったりしている。家族に会うことがあれば話を聞いている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>何気ない会話から汲み取るよう努力している。</p>		

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>センター方式を利用し、ご本人との会話の中や、家族から情報を得ている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>把握はしているが、一日の中で一人一人に十分に目を向ける余裕がないのが現状。一日の中で一対一でゆっくりと会話をする時間を造って行きたい。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月に一回カンファレンスを行い、意見を出し合っている。家族にはその意見を報告し、要望を聞き作成している。</p>		
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録をケアプランに乗っ取って行っている。状態が変わればプラン変更行っている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院した入居者に対し、家族の都合で訪問難しい場合は、代わりに状態を見に行ったり、洗濯物を撮りに行ったり協力している。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近所のスーパーに買い物に行ったり、離設があった時には、一緒に探してもらったりしたこともあった。(過去)</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>支障がない限り、入居前に掛かっていた病院そのまま、通院できるようにしている。2W毎に往診受診している。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>表情や言葉、行動を常に観察し、職員間で情報共有に努めている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>面会に行くようにし、現在の状態を病院関係者や家族と情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約書あり。その時の状態に応じて家族と掛かりつけ医と話し合い方針を決めている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルあり。研修を行っている。ただ、実践力において不十分な職員もいる。(経験不足)</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に訓練の実施を行っている。運営推進会議にて訓練を行ったこともある。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人にあった声掛けを心がけている。上から目線とならないよう、充分注意している。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行きたいところ、したいこと、言われたら、実行できるよう心がけている。また、ご本人に選択できる場をできるだけ作っている。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先になっている職員もいる。ペースに合わせられない部分もある。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	持っている服をいろいろ組み合わせ、お洒落に気を使っている。誕生日のプレゼントで服をやったり、スカーフをやったりしてコーディネートしたり、時には化粧も。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時々盛り付けや飾りつけ、一緒に行っている。片付けは毎回手伝ってもらっている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	肉アレルギーがある人は、肉ではなく代替品を準備したり、誤嚥の恐れある人にはとろみをかけたりしている。

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケア、必ず行っている。なるべく自力で行えるよう見守り声掛け行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>日中はオムツ使用せず、定時の誘導を行っている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘気味の人にはホットミルクや食物繊維の多い物を出すようにしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴をゆっくりしたい人にはAM中のゆっくりした時間に入ってもらったりしている。基本的1日おきに入浴できるようにしている。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>午後より、1時間程度昼寝できる時間を作っている。(休息もかねている)</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の説明書をファイルに閉じ、いつでも開けるようにしている。病院特記を作り、情報共有している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人の得意分野を見つけ、楽しむよう工夫している。グループに分け、レクレーションすることもあり。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>月一回ほど、美容室に行きたい人には、華族に協力してもらい、外出している。美容室の方の協力もあり。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持はひとりのみ。食事代と言って渡されている。(別財布に保管)一緒に買い物に行く時もある。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望あれば行っている。写真と一筆を添えて送ったことある。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとの行事に工作を行っている。その場に応じた有線の選曲。暑すぎず寒すぎずのエアコンの調整。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ食卓にて、所定の位置で思い思いに過ごしていることもある。(所定の場所でないと感じかねい)どこで過ごすか尋ねている。廊下にあるチェア、和室の利用あり。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく自宅で使われているものを持ってきていただくようにしている。しかし、持込が少ないのが現状。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札をかけたたり、トイレ、浴室も同じようにしている。過ごされる空間を変えないようにしている。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない